

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin



- 創立：昭和54年1月23日
- 例会：毎週火曜日17:30
- 事務所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 0742-33-8583/FAX 0742-33-8600
- 例会場：奈良市高畑町1096番地
奈良ホテル本館 電話0742-26-3300(代)
- 会長：中村信清 ■副会長：多田実 幹事：高野治

発行日 / 2016年3月22日
2015-2016/31

Vol.37

No. 1777

hp:http://naraomiya-rc.jp
E-mail: info@naraomiya-rc.jp

2015-16年度当クラブテーマ

『和と飛躍』



国際ロータリー第2650地区

ガバナー 中澤 忠嗣

「クラブに「個性」と「憧れ」を！」



四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長挨拶

このところ本当に春らしくなってきましたが、また明日から寒くなるようでございます。皆様方、お風邪を召されませんように気を付けて乗り切ってくださいと、かように思います。

委員会報告

親睦活動委員会：鈴木副委員長

来月4月10日に家族親睦例会としまして、吉野の方に花見例会を予定しております。出席表を回しますので、ご記入よろしくお願いたします。

幹事報告

・来週3月15日の例会は休会となっております。次回の例会は3月22日ですので、お間違えのないようよろしくお願いいたします。

・先日太宰府から帰りましてご案内いたしました宗像ロータリークラブさんの30周年の記念事業で沖ノ島へ参拝する件、太宰府ロータリークラブさんの方に出欠の返事をする必要があります。もうすでに何名かお申込みいただいておりますが、今週いっぱい締め切ります。日程は5月14日(土)、その日が雨であれば5月16日で、5月28日の宗像ロータリークラブの記念式典に出ていただけると非常に有難い、という条件がついております。もしご興味がおありの方がおられましたら、私までお問い合わせください。

・先日帝塚山学園学園長の柳澤先生に卓話に来ていただきましたが、帝塚山大学の方から、ぜひこれは良い公演なのでパンフレットを入れていただけないかということでお受けしました。この公演は表現力豊かな中国舞踊と二胡や琵琶の中国楽器がリードするオーケストラの演奏を通して、純粹で善なる伝統文化を再現し、その根底にある人類の普遍的価値観を表現して見せてくれます、ということです。ご興味がある方はぜひご参加いただければと思います。

例会プログラム

第32回3月22日

通算1777回

1. 開会の点鐘
2. ソング
「みかんの花咲く丘」
3. お客様の紹介
4. 会務報告
5. クラブ討論会④
(社会奉仕委員会担当)
6. 閉会の点鐘

例会状況報告

第31回 3月8日

通算1776回

◎会員総数	73名
◎出席義務者	46名
◎出席規定免除者(a)	0名
◎出席規定免除者(b)	27名
◎本日出席	48名
◎本日欠席	14名
◎本日出席率	77.42%

第29回 2月23日

通算1774回の修正

◎欠席者	11名
◎免除者の欠席者	11名
◎欠席者の補填者	9名
◎免除者の補填者	1名
◎出席率	96.83%

株式会社玉初堂 代表取締役 中造 和夫 様
「香と香道」



1、平安時代のお香

西暦595年、淡路島に香木が漂着したと言う史実が日本書紀に記載されています。これが文字で見る「お香」に関する初めての記録です。その後、奈良時代後期から平安時代に入ると、お香は仏教儀式での使用から、貴族の遊び、身嗜みとして用途が広がって行きました。

当初は、粉末に加工した香りの良い漢方薬を木炭粉と共に練り合わせて「練香」（ねりこう）を作り、その香りを部屋に焚き込めたり、着物に焚き染めたりして楽しみました。枕の中に香炉を仕込んで練香を焚き、その香りを髪に焚き染める「香枕」なども考案されています。

次第に、各自が調合に工夫を凝らした練香を作るようになり、それを持ち寄って香りの優劣を競う遊び「薫物合」（たきものあわせ）を始めるようになりました。元々、和歌の会の席上などでお香を楽しんだ事により、文学とお香の密接な関係が醸成されたものと思われま

す。匂い袋を作って袖に忍ばせる「誰ヶ袖」も貴族の間で流行しましたが、これらのお香を元にした身嗜みを総称して「追風用意」（おいかぜの用意）と呼びます。街中で人と出会った折に、自分の匂いによって、相手に不快感を与えないようにする気遣いなのです。

2、室町時代のお香

平安時代の後期から鎌倉時代は、末法思想が流布され、阿弥陀如来に救いを求める風潮が強くなって行きます。裕福な貴族は寺院を建立したり、屋敷の中に阿弥陀堂を建てたりするようになります。それが叶わない人々は、家の中に仏画を祀り、その前に香華燈明を供えました。これが床の間のルーツであると考えられています。

室町時代の中後期、応仁の乱の後に、足利義政は今の銀閣寺の地に別邸を設け、それを泉殿と称しました。大きな池の上に張り出した建物であったためです。（現在も、その外観図や間取り図が伝わっています。）その座敷の間を「香座敷」と呼び、「弄清亭」（ろうせいいてい）と名付けました。現在、各地に香座敷が設けられていますが、その殆どは、この香座敷の寸法や床の間と違棚などの配置を踏襲しています。この東山文化以前の時代は、室内は板張り、そこに各人がイグサで編んだ座具を置いて着座していました。この頃に、座具を現在の畳の寸法に拡大し、床全体に敷き詰めた「座敷」が完成します。泉殿では「同朋衆」と呼ばれる文化人のグループが様々な芸道をまとめ上げ、茶道、華道、和歌、数寄屋建築、そして、香道が創始されます。志野流香道の始祖「志野宗信」、御家流香道の始祖「三条西実隆」らによって、現在に至る香道の歴史が始まったのです。

香道として大成される以前は、歌の会の席上で、各人の所持する香木の優劣を競う「香合」（こうあわせ）、薫りの違いを判定して点数を競う「闘香」も盛んに行われましたが、悪戯に華美に走ったり、金品を賭けたりすることもあり、義政と同朋衆によって、品格の高い芸道に昇華されたものと思われま

す。香道では香りを聞くだけではなく、花鳥風月、和歌、故事、漢詩などをテーマとして香木を組み合わせて、香りを鑑賞します。「香道では香りを聞くと表現しますが、これは、精神を集中して優れた香りを楽しみ、同時に心の声を聞く、と言った意味が込められています。」（志野流香道20世家元 蜂谷宗玄宗 談）

3、香道の世界

香道に入門しますと、広範な知識が習得出来ます。前述の和歌、花鳥風月、季節毎の行事から始まる古典文学の世界を学び、一方では、組香（複数の香木の香りの相違を聞き分ける競技）で各人の成績（正解の点数）をまとめる記録の執筆、足運び、襖や障子の開け閉め、立居振る舞いなども学びます。

特に重要とされるのは「灰手前」です。専用の聞香炉に香炭団を埋め込み、その上に灰を盛り上げて山を作り、香炉を整えます。この手順を「灰手前」と呼びます。そして、銀葉（ぎんよう、雲母の薄板）を乗せて、小片の香木を載せると、緩やかに香りが立ち昇るのです。

「灰手前」とは、香木を最適な温度で加熱する手法ですが、温度が高過ぎると、燃えて煙が出ますし、低過ぎると香りが出ません。煙が出る寸前の温度で、香木が焚けるように工夫されているのです。61種銘香の最高峰、東大寺正倉院の「蘭奢待」は別格で、その焚き方（灰の作り方）だけで1冊の指導書「聞書」（ききしょ）が書かれているほどです。

香道の究極の目的は和歌を基本とする古典文学に親しむことであって、香りの判定のみに拘るべきではない、と言われていています。従って、香道を学ぶ志野流香道松隠会の会員1600名はそれを旨とし、日々、研鑽に励んでおります。

4、香木の現状

香道で香りを楽しむ香木は「沈水香木」（じんすいこうぼく）と言います。東南アジアで採取される沈丁花科の喬木で、その木質部に稀に樹脂が沈着するものがあり、それを採取するのです。樹脂が沈着した部位は比重が高く、水に沈むので「沈水香木」略して「沈香」と呼んでいます。その最高峰が「伽羅」で、例えようのない芳香を特長としています。

江戸時代には何もしない様を「伽羅も焚かず、屁もひらず」と言ったほどですが、現在では極めて高価な物になってしまいました。しかも、近年、偽物も多く、入手にはそれを鑑定する技量も求められます。もし、東南アジアに旅行された折、お土産として購入されても、本物の香木類はワシントン条約によって輸出入が厳しく管理されているため、十分な注意が必要です。香りは量よりも質が重要です。どうぞ、良い香りを日常生活でお楽しみ下さい。



本日計 39,000円 累計 2,012,000円

中村信清 君	盆梅展も終了しました。早く春よ来い。
高野 治 君	中造先生、本日の卓話、宜しくお願いいたします。
弓場裕史 君	中造社長様、本日は遠方よりありがとうございました。卓話よろしくお願ひ申し上げます。
金星 昇 君	三寒四温のこの季節 暮ぐれも御自愛下さい。
佐川 肇 君	花粉症で参ってます。
野崎隆男 君	先週例会欠席致しまして、申し訳ありませんでした。
植倉一正 君	ニコニコ協力
森下泰行 君	ニコニコ協力
森 完二 君	ニコニコ協力
西口栄一 君	ニコニコ協力
南谷正仁 君	ニコニコ協力
森山斗福 君	ニコニコ協力
市田富久夫君	ニコニコ協力

例会変更のお知らせ

3 月

■桜井ロータリークラブ■

- ・ 3月23日(水)・・・南輪会ゴルフ大会のため、移動例会。
場所：グランデージゴルフ倶楽部
- ※ビジター受付：行いません。

■奈良東ロータリークラブ■

- ・ 3月30日(水)・・・あすかRCとの合同例会のため、変更。
日時：3月31日(木)
- 場所：橿原ロイヤルホテル
- ※ビジター受付：3月30日(水) 17:30-18:00まで
ホテル日航奈良3Fにて。

■奈良ロータリークラブ■

- ・ 3月31日(木)・・・定款第6条第1節(C)のため、休会。
- ※ビジター受付：3月31日(木) 12:00-12:30まで
奈良ホテルにて行います。

4 月

■あすかロータリークラブ■

- ・ 4月7日(木)・・・職場訪問例会のため、例会日時・場所変更。
日時：4月7日(木) 12:00～
- 場所：榊中吉野開発 リサイクルセンター
- ※ビジター受付：クラブ定款第6条により、ビジター受付は
いたしません。

■京都山城ロータリークラブ■

- ・ 4月6日(木)・・・春の親睦花見例会のため、
例会日時・場所変更。
- 日時：4月6日(水) 12:30～
- 場所：八百忠
- ※ビジター受付：12:00-12:30までけいはんなホール1Fにて
行います。

5 月

■奈良東ロータリークラブ■

- ・ 5月4日(水)・・・定款第6条第1節(C)のため、休会。
- ※ビジター受付：行いません。
- ・ 5月11日(水)・・・奈良RCとの合同例会のため、
変更。
- 日時：5月12日(木)
- 場所：奈良ホテル
- ※ビジター受付：5月11日(水) 17:30-18:00まで
ホテル日航奈良3Fにて

次回の例会

2016年3月29日(火) 卓話

講師 国立大学法人 奈良教育大学 学長 加藤 久雄 氏
演題 「ユネスコのESDと奈良」